

高楠悟史(タカクス サトシ)
平成18年度3次隊 コンピュータ技術 ボツワナ

プロフィール

任期:2007年3月26日~2009年3月25日 配属先:マウン技術短期大学
大学卒業後、約3年間コンピュータ関連会社に勤め、退職後青年海外協力隊に参加。

気候や文化の紹介

南部アフリカに位置するボツワナ共和国は、ナミビア、南アフリカ共和国、ジンバブエ、ザンビアに囲まれた内陸国。面積は日本の約1.5倍もあるが半分以上がカラハリ砂漠であり、人口は170万人ほどしかない。

日本のように四季は無く、夏(雨季)と冬(乾季)のみ。南半球に位置するので日本が夏を迎える時、ボツワナは冬となる。大半の人がキリスト教信者でカレンダーの休日は多くのキリスト教国の休みと似通っている。したがってクリスマスも休日であり大変盛り上がるが、如何せん真夏なので少し違和感がある。

活動や生活について

主な活動は、生徒に対する授業、先生に対するヘルプデスク、学校内にあるコンピュータ&ネットワークの管理、の3つ。協力隊に参加する前はこう考えていた。英語にはあまり自信が無いけれど、たぶん開発途上国で活躍できるだろう。きっとアフリカの人たちはあまりコンピュータに触ったことが無いだろうから、コンピュータの基本的な事が出来て教えられれば上手くいくはず。しかし、ボツワナに来てみて驚かされた。みんな(小学生ですら)すらすらしゃべる英語。ウィンドウズやマイクロソフトオフィス等の簡単なソフトなら難なく使う先生・生徒達。学校にあるウィンドウズピスタ搭載のコンピュータや光ファイバケーブルとギガビットネットワーク対応機器。途上国を、アフリカを侮っていた。特にボツワナは周辺アフリカ諸国とは違うようで、産出額において世界一を誇るダイヤモンドの恩恵で南部アフリカでは豊かな国と言われている。首都から遠く離れた小さな村にも学校が建ち、街にはインターネットカフェがたくさんある。多くの人が携帯電話を持ち、個人でコンピュー



コンピュータ科の生徒がハードウェア実習クラスにてコンピュータを分解・組み立てしている。



スリヤひったくり等の犯罪は日本に比べるととても多い。校門には常時門番があり、また、各パソコン教室には窓とドアに鉄格子が備え付けてある。

タを所有する人もいる。

配属先に来たばかりの頃は、どちらがボランティアされているのか分からないくらい同僚や生徒達に助けてもらった。ボツワナの生活を教えてもらい、現地語を教えてもらい、英語を教えてもらい、色々とお世話になった。時間が経つにつれ、現地語で挨拶ができるようになり、英語で会話できるようになり、一年が経つころにはようやく授業ができるようになった。生活に慣れてきた頃、活動が上手くいかないと感じてきた。日本とボツワナの違いが分かり始め、その違いが日本で仕事をする感覚では物事が進まない原因の1つだという気がしてきた。

ボツワナ人の生活の中で私が好きだなと感じる部分は、いつも挨拶を忘れない事とおしゃべり好きな事である。自宅から学校までは歩いて10分程度なのであるが、いつも何回挨拶の言葉を発するか分からない。その挨拶も日本のように「おはようございます」と一言だけ言って顔を見ずに立ち去る感じではなく、毎回握手しながら顔を見て「今日もお元気ですか？」と会話をするのである。知っている人に会うたびこの挨拶をしていれば自分の用事に遅れてしまうのだが、そんな事はお構いなし。学校の始業ベルが鳴っても、バスの発車寸前でも、職員会議の途中ででも、みんな挨拶しおしゃべりを楽しむのである。傍目から見るとは楽しくて良いのだが、しかし自分の活動と合わせて考えると手放して楽しめない。平気で授業に遅れてくる生徒、授業中隙があったらおしゃべりを始める生徒達、終了予定時間を1時間も2時間も過ぎてしまう職員会議。バスが発車するのを4時間待ったこともあった。ここはアフリカ、日本とは違いアフリカ時間が流れている。このアフリカ時間やたくさんのボツワナの文化を知った今(すでに2年の任期のうち1年半が経過したのだが)、ようやく本当にボランティア活動を行う準備が整ったという感がある。



コンピュータ科以外の生徒も主要科目の1つとして、コンピュータの基礎を学ぶことになっている。コンピュータ科以外の生徒に対して、マイクロソフトワードの授業を行っている。



ボランティアと一緒に活動を行う現地のスタッフ(カウンターパート)とコンピュータの壁紙に写っているのは、コンピュータ科の主任。ボツワナでは女性の地位が日本ほど低くなく、女性がグループのリーダーとなることも多い。

ここはアフリカ、日本とは違いアフリカ時間が流れている。このアフリカ時間やたくさんのボツワナの文化を知った今(すでに2年の任期のうち1年半が経過したのだが)、ようやく本当にボランティア活動を行う準備が整ったという感がある。